

中央市次世代育成支援地域行動計画

# 親が子どもがいきいきプラン



平成 20 年 3 月

中央市



## 市長あいさつ

我が国の一人の女性が一生に産む平均子どもの数である「合計特殊出生率」は減少傾向にあり、厚生労働省の人口動態統計によると平成18年は前年より微増の1.32となっています。

これまで政府は、仕事と子育ての両立支援など保育サービスの充実や関連する制度の整備を進めてきましたが、少子化の傾向に歯止めがかかりません。その原因の一つに、未婚化・晩婚化の進行があげられますが、その背景には経済的な状況や結婚に対する個人の価値観の変化、女性の社会進出など様々な理由が考えられます。しかし、このまま少子化の傾向が続くことで、経済や社会制度に大きな影響を及ぼすことから、平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」を制定し、少子化対策に取り組むことになりました。

これを受け、旧玉穂町、旧田富町、旧豊富村では、平成15年度に次世代育成支援に関するニーズ調査を実施し、平成16年度にそれぞれ「次世代育成支援地域行動計画」を策定して、平成17年度から推進活動を進めてきました。そのような中、平成18年2月20日に町村合併し、中央市が誕生しました。

今回、旧3町村の調査結果と行動計画を活かした新たな「**中央市次世代育成支援地域行動計画 親が子どもがいきいきプラン**」を策定しました。

子どもは、私たちにとって「未来の宝」です。本計画を柱に、子育てに関わる方々と連携する中で、すべての子育て家庭が安心して子どもを生み育てることのできる「**親が子どもがいきいきと輝き、喜びであふれるまちづくり**」の実現を目指します。

本計画の策定にご協力いただきました皆様に心から感謝を申し上げますとともに、この計画の推進が新しいまちづくりに反映される効果的な取り組みとなりますよう、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。



平成20年3月

中央市長 田中 久雄

## 目次

市長あいさつ

### 第1部 総論編

#### 第1章 計画策定の背景と目的

- 1 計画の背景 … 1
- 2 計画の目的 … 2
- 3 計画の名称 … 2
- 4 計画策定の基本的な考え方 … 2
- 5 計画の期間 … 3

#### 第2章 中央市の現状

- 1 中央市の状況 … 4
- 2 保育サービスの状況 … 7
- 3 母子保健の状況 … 10
- 4 就学の状況 … 14
- 5 安全の状況 … 15

### 第2部 計画編

#### 第1章 計画の体系

- 1 基本理念 … 16
- 2 総合目標 … 16
- 3 基本的な視点 … 16
- 4 重点分野 … 17
- 5 施策の骨子 … 18

#### 第2章 行動計画

- 1 分野別行動計画 … 19
  - 1) 保育分野 … 19
  - 2) 保健分野 … 23
  - 3) 教育分野 … 25
  - 4) 安全分野 … 27
- 2 推進体制 … 30
- 3 分野別施策・事業一覧 … 31
- 4 主要事業の目標事業量 … 38
- 5 市民の皆様からのご意見 … 39

### 第3部 資料編

- 1 次世代育成支援対策推進法 … 43
- 2 市民からのご意見募集について … 50
- 3 策定の経過 … 52
- 4 次世代育成支援対策地域協議会 … 53
- 5 中央市と山梨県の次世代育成支援に関する窓口 … 55